

## 全国における豚コレラの発生状況

昨年 9 月に、豚やイノシシの熱性伝染病である豚コレラ（CSF）が、国内 26 年ぶりに岐阜県で発生し、その後多発しました。現在までの発生状況などを振り返ります。

### 【岐阜県で初発後、続発まん延】

2018 年 9 月 9 日に岐阜県岐阜市の約 580 頭規模の一貫養豚農家で最初に発生しました。農場周辺の死亡野生イノシシにも CSF ウイルス感染が確認されています。

その後しばらく発生が無く、初発での早期終息が期待されましたが、11 月 16 日に岐阜市で 2 例目が発生しました。

さらに、12 月に 4 例（美濃加茂市、関市、可児市、関市）、明けて 2019 年 1 月に 1 例（各務原市）と、岐阜県内で続発、まん延しました。

### 【愛知県にも発生、続発】

全国的に早期終息に向け尽力していましたが、2 月 6 日には愛知県豊田市で発生が確認されました。当該農場からは感染豚が他府県に出荷され、受入先の長野県、大阪府等の農場で発生、滋賀県でも発生し防疫措置を実施しました。

さらにこの後、岐阜県、愛知県では、2 月に 2 例（愛知県田原市、岐阜県瑞浪市）、3 月に 6 例（岐阜県山県市 2 例、美濃加茂市、愛知県瀬戸市 2 例、田原市）、4 月に 5 例（岐阜県恵那市 2 例、愛知県瀬戸市 2 例、愛知県田原市）、5 月 16 日に 1 例（愛知県田原市）発生しました。

5 月 29 日現在、24 例の発生が確認されています。

### 【原因ウイルスは中国株と近縁】

今回の発生で検出された CSF ウイルスは、遺伝子解析の結果、以前に日本で発生した株よりも、中国で発生している株と近縁であることがわかりました。このことから、今回一連の発生の感染源は海外から侵入したと疑われています。

### 【野生いのししに感染、ワクチン対応へ】

岐阜県や愛知県では、捕獲や死亡の野生いのししについて CSF ウイルス遺伝子が検出され、感染が確認されています（当県を含むその他の道府県ではすべて陰性）。これらは、養豚への感染源になる恐れがあるため、両県の野生いのししに、経口ワクチンを散布投与する対応がとられているところです。

### 【飼養衛生管理基準の遵守徹底を！】

CSF ウイルスが海外から侵入したと疑われること、野生いのししに感染が確認され養豚への感染源として注意が必要となっていることから、発生を防止するためには、飼養衛生管理基準を徹底して遵守することが重要です。特に、野生動物の侵入防止や、農場に出入りする車輛や人に対する消毒などによる感染源の侵入防止対策に努めるとともに、毎日の観察を徹底して異常発見時には即時に通報をするなど万一のまん延防止に努めるようにしてください。

引き続き衛生管理を徹底いただくようお願いいたします。（平澤）